

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
芸術	美術Ⅰ	2	1	全科	必修	美術1(光村図書)

### 1 目標

美術の3つの大きな柱となる絵画、彫刻、デザインの各領域の造形的基礎力を学ぶ。また美的感性や発想力、構想力を養い、個性的でより豊かな表現力を身につける。

### 2 評価の観点

知識・技能	様々な芸術作品や美術史について関心を持ち、知識と理解を深める。
思考・判断・表現	自分の作品について客観的に評価することができるか。感性や創造力を働かせて、創造的な表現の構想を行うことができるか。創造的な表現をするために必要な技能を身につけ、表現方法を工夫して表しているか。
主体的に取り組む態度	美術表現、鑑賞に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組み、主体的に考える姿勢で課題に臨んでいるか。

### 3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	デッサンを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象をよく観察し、いきいきとした表現を目指す。</li> <li>クロッキーとデッサンの違いを知る。</li> </ul>	
	色彩の基本を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆の使い方を工夫し、グレーの段階を生かして描く。</li> <li>色の属性(色相・明度・彩度)や混色について学ぶ。</li> </ul>	
	デザイン、平面構成を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線と曲線によるデザイン。アクリル絵の具彩色。</li> <li>アクリル絵の具の特性と使い方を知る。</li> <li>鑑賞を通してデザインの意味、分野、用語について知る。</li> </ul>	
後期	版画(木版画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>浮世絵の技法に習い、彫る。</li> <li>彫刻刀に慣れ、正しい使い方を身につける。</li> </ul>	
	木彫 自然物の模刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体造形の基本を知る。</li> <li>デッサンを行い、自然物の構造を理解し制作する。</li> <li>生命の証であるフォルムを感じ、考察する。</li> <li>工具、道具の正しい使い方を身につける。</li> </ul>	

### 4 学習の留意点

各時間に提出した「作品」や、制作過程や感想文などの「提出物」、学習活動への参加状況(出席状況、学習態度、意見発表等)をもとに、総合的に判断する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
芸術	書道Ⅰ	2	1	全科	必修	書道Ⅰ(東京書籍)

### 1 目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

### 2 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
主体的に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	書写から書道へ	書写で学んできたこと コラム: 用具・用材の製造方法 用具・用材 姿勢・執筆法	
	漢字の書	漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書、行書、草書、隸書、篆書 創作・鑑賞	
後期	仮名の書	仮名の成立 仮名を書く準備 平仮名の単体 変体仮名 連綿 「蓬萊切」、「高野切第三種」、「関戸本古今和歌集」	
	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷 表現を比べよう 表現の工夫 創作・鑑賞	
	篆刻	篆刻と落款 創作・鑑賞	
	資料	書道用語200 書道史略年表 書を見に行こう 鑑賞の言葉を広げよう	

### 4 学習の留意点

各時間に提出した「作品」や、制作過程や感想文などの「提出物」、学習活動への参加状況(出席状況、学習態度、意見発表等)をもとに、総合的に判断する。